

# ★★★ AlertWatcher for VT Trader & ChartTrader ★★★

ReadMe ファイル

## 1. 謝辞

このたびは『AlertWatcher for VT Trader & ChartTrader』をご利用いただき誠にありがとうございます。本ソフトウェアは VT Trader もしくは ChartTrader で各種アラートが発生した時にメールで通知するための機能を提供します。

本ソフトウェアはシェアウェアです。ライセンスキーは以下のサイトから入手してください。

<http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/business/se436500.html>

### ■動作環境

- 対応 OS : ・ Windows XP (SP2 以上推奨) , Windows Vista (\*1) , Windows 7 (\*1)  
※OS は 32bit/64bit のどちらにも対応
- その他 : ・ Java 1.6 (こちらは 32bit 版 Java のみ) 以上の導入が必要  
→ 64bit 版 OS をお使いの場合でも 32bit 版 Java を導入してください  
・ ドライブが NTFS 形式となっていること

### ■機能

- **売買シグナル**が発生した際、任意のメールアドレスにメールで通知可能
- **プライスアラート**を設定していた場合、そのアラートが発生したときにメールで通知可能
- **新規ポジション**を持ったときに、メールで通知可能
- 1 回目のアラートが発生した後、次に通知するまでのインターバルを設定可能
- 各種アラートが発生した時の画面スクリーンショットをメールに添付して送信可能

(\*1) Windows Vista, Windows 7 の場合、ファイルの最終アクセス日時が更新されない設定になっていますので、レジストリエディタでこれをオンにしてください。

また、ファイルシステムが NTFS である必要があります。

**この設定を行わなければ正常に動作しません。**

★Windows Vista, Windows 7 で、ファイルの最終アクセス日時をオンにする具体的な設定方法：

管理者権限のあるユーザーでログオンし、スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選び、「regedit」と入力して「OK」ボタンをクリックする。レジストリエディタが起動したら、以下のキーをたどる。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE→SYSTEM→CurrentControlSet→Control→FileSystem

「NtfsDisableLastAccessUpdate」という DWORD 値を 1 から 0 に変更し、PC を再起動する。

★ (オプション) ドライブのファイルシステムを FAT32 から NTFS に変換する方法

ドライブのプロパティを見て、ファイルシステムが” NTFS” になっていない場合は、NTFS に変換する必要があります。下記のリンクにある方法などで変換を行ってください。

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~ayum/sample/filesystem.html>

### ■売買シグナルについて

トレーディングシステムをお使いの場合、売買シグナルが発生し、何度か表示されてから確定します。本ソフトウェアは、売買シグナルが発生した時点で検知してメールを送信します。ただしその時点では売買シグナルが「確定」した状態になっているとは限りませんので、一緒に送信される VTTrader or

ChartTrader のスクリーンショットなどを見てから売買の判断をされることをお勧めします。  
(売買シグナルが発生しても「確定」しない場合もあります)

---

## 2. AlertWatcher 設定方法

---

以下の順番にしたがって AlertWatcher を設定してください。

①Java をインストールする (<http://www.java.com/ja/>)

※Windows を選択し、ダウンロードしてインストール、PC を再起動してください。

②params フォルダの中にある、以下の3つのテキストファイルを編集する。

- paramsSignal.txt      ・ ・ トレーディングシステムで売買シグナルが発生したときの設定
- paramsPricealert.txt      ・ ・ プライスアラートが発生したときの設定
- paramsNewposition.txt      ・ ・ 新規ポジションを持ったときの設定

これら3つのファイルは基本的に同じ内容となっています。

1つずつ、下記の説明にしたがって編集し保存してください。

アラートの種類毎に個別の設定ができるため、通知先メールアドレスを変えたり、インターバルの秒数を変えたりすることが可能です。

```
▼設定パラメータ
// 各種メール設定
mail.send.address=アラート通知メールの送信先アドレス
mail.from.address=メール送信元アドレス
mail.smtp.host=SMTP サーバーアドレス
mail.smtp.ssl=SSL の使用可否 (true / false)
mail.smtp.port=SMTP ポート番号 (通常は 25、SSL が true の場合は 465)
mail.smtp.auth=SMTP 認証使用可否 (true / false)
mail.from.name=メール送信者名
mail.server.id=SMTP サーバーID
mail.server.pwd=SMTP サーバーパスワード

// アラート検知時の動作
action.interval.second= 1 回目のアラート発生通知メール送信時点から
                        何秒間インターバルを置くか。(既定は 60 秒)
action.screen.send=シグナル発生通知メールにスクリーンショットを添付するかどうか (yes / no)

// メール本文設定
mail.title=アラート発生通知メールのタイトル
mail.text=アラート発生通知メールの内容

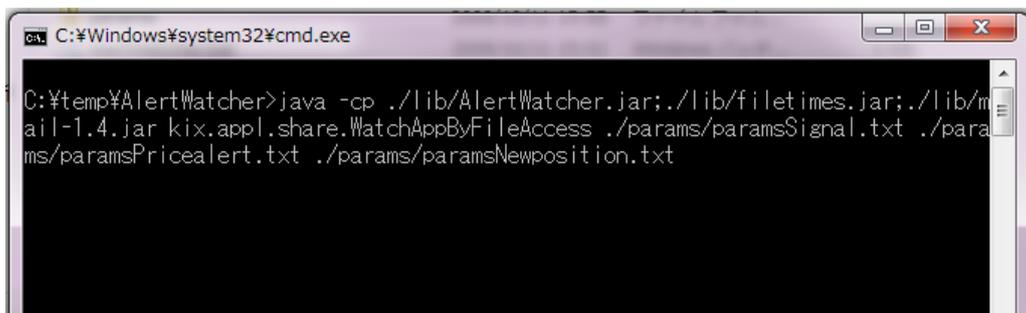
// VTTrader, ChartTrader のインストールディレクトリ設定
install.path=C:/Program Files/VTTrader 2 (VTTrader or ChartTrader インストールパス)
sound.file=xxxxx.wav (アラート発生時に再生されるサウンドファイル、アラートの種類によって異なるが通常は変更の必要なし)

// ライセンスキー
key.license=本ソフトウェアを購入した際に通知されるライセンスキーを設定してください
```

※デフォルトでは Gmail の SMTP サーバ経由でメールを送信する設定にしています。  
※オススメは、**Gmail のアカウントを取得**し、Gmail から自分の Gmail アドレスに

シグナル発生通知メールを送信することです。Gmail Notifier を使えば、メールが届いた時点でタスクバー上のポップアップで知ることができます。  
※64bit 版 Windows に VTTrader or Chart Trader をインストールした場合、インストールパスは **C:/Program Files (x86)/VTTrader 2** となっている場合があります。

- ③AlertWatcher.bat ファイルをダブルクリックして AlertWatcher を起動します。  
以下のような画面が表示されれば正常起動しています。

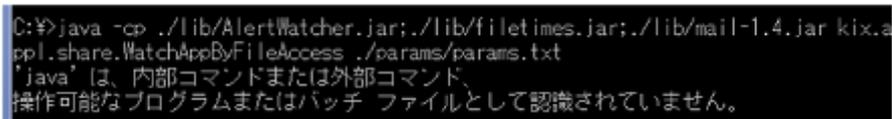


```
C:\Windows\system32\cmd.exe
C:\temp\AlertWatcher>java -cp ./lib/AlertWatcher.jar;./lib/filetimes.jar;./lib/mail-1.4.jar kix.appl.share.WatchAppByFileAccess ./params/paramsSignal.txt ./params/paramsPricealert.txt ./params/paramsNewposition.txt
```

※params フォルダ内のファイル名を変えた場合は AlertWatcher.bat ファイルの中身を編集してください。  
※コマンドラインは閉じないでください。プロセスが終了してしまいます。  
※スクリーンショットを送信する設定にしている場合、シグナルの発生状況がわかる画像を送信するために VT Trader or ChartTrader の画面をアクティブにしてフルスクリーン状態にしておいてください。

### 3. トラブルシューティング

- ★ AlertWatcher.bat ファイルが起動しない、起動しても一瞬で落ちる、またはコマンドラインから実行したら以下のようなメッセージが表示される



```
C:\>java -cp ./lib/AlertWatcher.jar;./lib/filetimes.jar;./lib/mail-1.4.jar kix.appl.share.WatchAppByFileAccess ./params/params.txt
'java' は、内部コマンドまたは外部コマンド、操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。
```

→ Windows の PATH 環境変数に java.exe が含まれていない可能性があります。AlertWatcher.bat ファイルの先頭を以下のように編集してください。

“C:\Program Files\Java\jre6\bin\java” -cp …以下は同じ

“C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin\java” -cp …以下は同じ (64bit OS の場合)

上記は一例です。お使いの PC で java.exe がインストールされている場所を書くようにしてください。

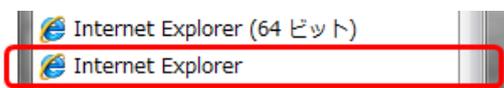
→ どうしても動かない場合、AlertWatcher.bat に書かれている全てのパスを絶対パスに書き換えて試してみてください。

- ★ AlertWatcher.bat ファイルが起動しない、起動しても一瞬で落ちる、またはコマンドラインから実行したら以下のようなメッセージが表示される



```
C:\TEMP\AlertWatcher\AlertWatcher>C:\TEMP\AlertWatcher\AlertWatcher\AlertWatcher.bat
C:\TEMP\AlertWatcher\AlertWatcher>java -cp ./lib/AlertWatcher.jar;./lib/filetimes.jar;./lib/mail-1.4.jar kix.appl.share.WatchAppByFileAccess ./params/paramsSignal.txt ./params/paramsPricealert.txt ./params/paramsNewposition.txt
Exception in thread "main" java.lang.UnsatisfiedLinkError: C:\TEMP\AlertWatcher\AlertWatcher\nativefiletimes.dll: Can't load IA 32-bit .dll on a AMD 64-bit platform
    at java.lang.ClassLoader$NativeLibrary.load(Native Method)
    at java.lang.ClassLoader.loadLibrary0(Unknown Source)
    at java.lang.ClassLoader.loadLibrary(Unknown Source)
```

- 64bit 版 Java JVM では起動しません。32bit 版 Java JVM をお使いください。  
64bit 版 OS に 32bit 版 Java JVM をインストールするには、32bit 版 Internet Explorer から下記のサイトにアクセスして Java をインストールしてください。(下図の赤い四角のアイコンが 32bit 版 Internet Explorer です)  
<http://java.com/ja/>



32bit 版 Java JVM は、下記のディレクトリにインストールされます。

→ “C:¥Program Files (x86)¥Java”

コマンドラインから” java” と実行されるときに動くのは、上記のディレクトリ以下にある java.exe である必要があります。(“C:¥Program Files (x86)¥Java¥jre6¥bin¥java.exe”)

★アラートが発生してもメールが送信されない

- 「アラート！！」という文字列が表示されない場合、VT Trader, ChartTrader のインストールディレクトリ設定が間違っている場合がありますので、設定ファイル内の install.path をご確認ください。特に、64bit 版の Windows をお使いの場合は **C:/Program Files (x86)** 以下にインストールされている可能性があります。
- params.txt の各種メール設定を確認してください。送信先メールアドレスに間違いがないか、ID、パスワードに間違いがないか、サーバーアドレスは正しいかなど、チェックしてください。Gmail は動作実績があるため Gmail をお使いいただくこともご検討ください。
- Windows Vista, Windows 7 の場合、デフォルトではファイルの最終アクセス日時が更新されない設定になっていますので、レジストリエディタでこれをオンにしてください。この設定を行わなければ正常に動作しません。(設定方法は 1 ページ目参照)
- 各種アラートが発生すると、“C:¥Program Files¥VTTrader 2¥Sounds” ディレクトリの中のサウンドファイルが鳴らされます (32bit 版 OS で VT Trader2 を利用している場合)。AlertWatcher はこのサウンドファイルが鳴らされたことを検知してメールを送信します。アラートを検知できていない場合、このサウンドファイルの指定 (sound.file) が違っている可能性がありますので、お使いのトレーディングシステムがアラートを出したときに鳴らすサウンドファイルと違っていないかを確認してください。違っている場合は正しいサウンドファイル名に書き換えてください。

★メールの送信間隔が短すぎる、メール送信回数を減らしたい

- action.interval.second の秒数を増やして間隔を空けてください。ただしあまり間隔を空けすぎると、売買シグナル確定時を大きく逃す可能性もあるのでご注意ください。
-

## 注意事項および免責事項

---

- ・ ライセンスキーを設定しない場合、機能制限版となります。メールは送信できませんが、アラート発生通知を擬似的に見ることができます。
  - ・ 本ソフトウェアはシェアウェアです。ライセンスキーは以下のサイトから入手してください。  
<http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/business/se436500.html> ・ ・ ベクターからの購入です。  
<http://homepage1.nifty.com/kix/alert/> ・ ・ こちらからはPaypal, 銀行振込みが可能です。
  - ・ 本ソフトウェアを利用することによって生じた損害について、作者は一切の責任を負わないものとします。必ず自己責任でのご使用をお願いいたします。
  - ・ 本ソフトウェアの不具合による動作不良については可能な限り対応しますが、作者は不具合修正の義務を負わないものとします。
  - ・ お支払いいただいた料金についてはいかなる理由が有っても払い戻しはいたしかねます。
  - ・ 本ソフトウェアの再配布は禁止とさせていただきます。
  - ・ 本ソフトウェアに関するご要望・ご質問は以下のサイトより受け付けています。  
<http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P56269001>
-